

Ⅱ 平成 30 年度の事業実施概要

1 事業の現況

兵庫県は、基幹道路八連携軸を中心とする道路交通網の整備を通じて、都市と多自然居住地域との交流促進、地域産業の振興、生活環境の高度化など県土の均衡ある発展と、地域文化の発展による地域の活性化に取り組んでいる。

当社は、兵庫県と連携して高速道路網整備の一翼を担い、基幹道路八連携軸を構成する播但連絡道路、遠阪トンネル運営・管理を行っている。また、有料道路利用者へのサービスの向上を図るため、播但連絡道路においてサービスエリア(SA)、パーキングエリア(PA)を整備している。

(1) 営業路線（2路線）

道 路 名		播但連絡道路（I期～V期）	遠 阪 ト ン ネ ル
区 間	起 点	姫路市的形町	朝来市山東町
	終 点	朝来市和田山町	丹波市青垣町
規 模	距 離	65.1 km	4.7 km（うちトンネル2.6 km）
	幅 員	6.5m（2車線）～14.0m（4車線）	7.0m（2車線）
	道路規格	第1種第3級及び4級	第1種第3級
供 用 開 始	一部 昭和48年11月1日 （その後、順次部分開通） 全線 平成12年5月27日	昭和52年5月25日 （改築）平成18年7月22日	
工 事 期 間	昭和45年度～平成12年度	昭和48年度～昭和52年度	
	ETC 平成19年度～平成20年度	改築 平成15年度～平成18年度	
総 事 業 費	1,821億8,600万円	111億2,000万円	
料 金 徴 収 期 間	昭和48年11月1日 ～平成44年10月21日	昭和52年5月25日 ～平成38年1月18日	
小 型 乗 用 車 / 観 光 バ ス 全 線 通 行 料 金	1,440円/3,910円	310円/870円	

(2) サービスエリア・パーキングエリア

名 称	市川サービスエリア	朝来サービスエリア	豊富パーキングエリア	和田山パーキングエリア
施設内容	レストラン、売店、自動販売機、トイレ、公衆電話等	レストラン、売店、自動販売機、トイレ、公衆電話等	軽食、自動販売機、トイレ、公衆電話等	自動販売機、トイレ等(南行きのみ)

2 営業路線の利用状況（平成30年度）

(1) 車種別交通量

年間交通量は、播但連絡道路（平成12年全線開通）、並びに、遠阪トンネル（昭和52年開通）ともに過去最高となり、2路線を合わせ2,000万台を超えた。

（単位：台）

車 種 \ 路 線	播但連絡道路	遠阪トンネル	合 計
普通車・中型車	11,608,640	2,246,106	13,854,746
大型車・特大車	1,619,003	268,086	1,887,089
軽自動車・二輪自動車等	3,604,454	657,024	4,261,478
合 計	16,832,097	3,171,216	20,003,313
対前年比(%)	102%	100%	101%
対計画比(%)	106%	94%	104%
1日当たりの平均台数	46,115	8,688	54,803

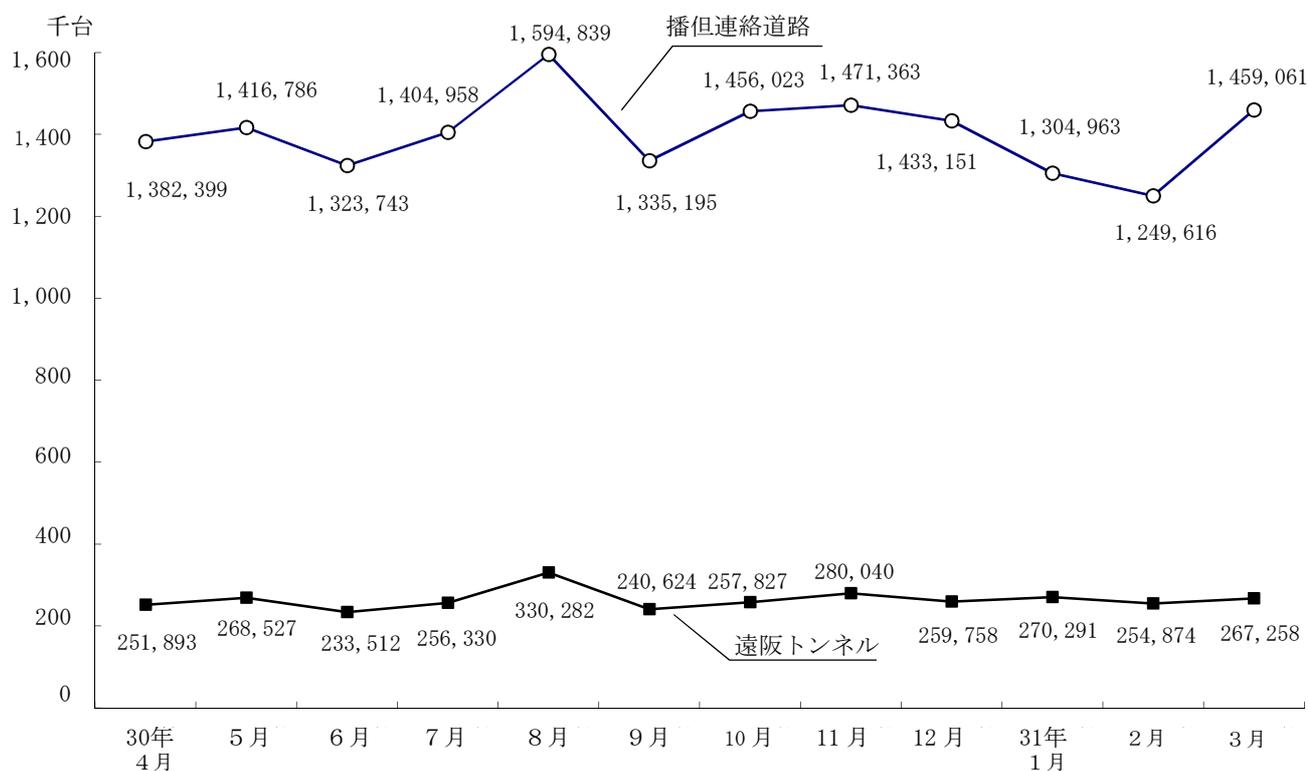
注1) 交通量は、料金所出口の有料通行車台数

注2) 対計画比は、有料道路事業申請時の計画値（年度別交通量）に対する比率

(2) 月別交通量

(単位：台)

月	線	播但連絡道路	遠阪トンネル	合計
平成30年4月		1,382,399	251,893	1,634,292
5月		1,416,786	268,527	1,685,313
6月		1,323,743	233,512	1,557,255
7月		1,404,958	256,330	1,661,288
8月		1,594,839	330,282	1,925,121
9月		1,335,195	240,624	1,575,819
10月		1,456,023	257,827	1,713,850
11月		1,471,363	280,040	1,751,403
12月		1,433,151	259,758	1,692,909
平成31年1月		1,304,963	270,291	1,575,254
2月		1,249,616	254,874	1,504,490
3月		1,459,061	267,258	1,726,319
合計		16,832,097	3,171,216	20,003,313



(3) 料金収入

(単位：千円)

内 訳 \ 路 線	播但連絡道路	遠阪トンネル	合 計
現 金	515,307	83,835	599,142
クレジット等	4,652,054	823,731	5,475,785
回数券	—	64,880	64,880
合 計	5,167,361	972,446	6,139,807
対前年比 (%)	101%	100%	101%
対計画比 (%)	96%	87%	94%
1日当たりの平均料金収入	14,157	2,664	16,821

※クレジット等には、各種クレジット、大口利用者の後納払いが含まれている。

(遠阪トンネルはETCクレジットのみ利用可)

※回数券は販売額

※対計画比は、有料道路事業申請時の計画値（年度別料金収入）に対する比率

(4) 収支状況

平成30年度決算では、料金及び道路占用料等の収入は6,145百万円に対し、維持管理費及び支払利息等の費用は4,574百万円であり、収支率（100円の収入を上げるのに必要な費用）は74円となる。なお、道路にかかる収支差は、借入金返済に充当している。

(単位：千円)

内 訳 \ 路 線	播但連絡道路	遠 阪 ト ン ネ ル	合 計
収 入 (A)	5,173,245	972,648	6,145,893
費 用 (B)	3,996,340	576,808	4,573,148
収支率 ($\frac{B}{A} \times 100$)	77円	59円	74円

3 附帯事業の営業手数料

サービスエリア等の営業委託による平成 30 年度営業手数料は、26 百万円となっている。

(単位：千円)

名 称	市川サービスエリア	豊富パーキングエリア	合 計
営業手数料	16,388	9,716	26,104
対 前 年 比	101%	97%	100%

注1) 朝来サービスエリアは、第三セクターの直営（道路占用）

[参考]

(1) 基幹道路八連携軸

県土の骨格を形成し、県全体の発展基盤となる基幹道路八連携軸は、日本海太平洋軸、播磨丹波但馬軸、播磨但馬軸、播磨因幡軸の南北4本、阪神播磨臨海軸、中国内陸軸、山陽内陸軸、日本海沿岸軸の東西4本の基幹軸から構成されている。

当会社が管理する播但連絡道路は播磨但馬軸として、遠阪トンネルは播磨丹波但馬軸の一部としての役割を担っている。

整備状況（平成31年4月現在）

（単位：km）

軸名称	供用中	事業中	未着手	合計
日本海沿岸軸	23.2 (45.7%)	7.6 (15.0%)	20.0 (39.4%)	50.8
中国内陸軸	121.6 (100.0%)	-	-	121.6
山陽内陸軸	127.8 (100.0%)	-	-	127.8
阪神播磨臨海軸	141.3 (63.0%)	21.4 (9.5%)	61.5 (27.4%)	224.2
播磨因幡軸	22.2 (66.1%)	11.4 (33.9%)	-	33.6
播磨但馬軸	88.5 (87.0%)	8.1 (8.0%)	5.1 (5.0%)	101.7
播磨丹波但馬軸	47.6 (60.6%)	12.1 (15.4%)	17.0 (22.2%)	76.7
日本海太平洋軸	180.3 (100.0%)	-	-	180.3
合計	752.5 (82.1%)	60.6 (6.6%)	103.6 (11.3%)	916.7

注) 各路線の延長は兵庫県内の延長である。なお、ルートが決まっていない路線については想定延長としている

(2) 基幹道路八連携軸における公社管理路線の構成比

ア 播但連絡道路 65.1 km : 播磨但馬軸 101.7 km

イ 遠阪トンネル 4.7 km : 播磨丹波但馬軸 76.7 km

ウ 全体の構成比は、基幹道路八連携軸 916.7 km に対し、計 69.8 km で 7.6% を占めている。